

セッション名	座長	演題番号	演題名	所属	筆頭発表者
身体的痛み	関本 研一 渋川医療センター 麻酔科	P1-1	療養型病院の緩和ケアを支える医療用麻薬管理の実態 ー長期入院・高用量オピオイド使用例に着目してー	二之沢病院 薬局	水口 智美
		P1-2	骨転移を有する在宅がん患者に対しデノスマブを新規導入し疼痛緩和とオピオイド減量を認めた3症例	あい逗子クリニック	木村 憲幸
		P1-3	メサドン導入後にQTc延長を認めた進行胃がんの一例	国際医療福祉大学市川総合病院 緩和ケア科	荻原 知美
		P1-4	メサドン開始時の薬学的注意点と実際に介入した1例	桐生厚生総合病院 薬剤部	栗原 麻奈美
		P1-5	入院中オピオイド導入後に在宅医療開始、難症例の問題点を再検討することでオピオイド減量・中止が可能となった3例	医療法人社団 ひさゆい会 在宅ケアクリニック杉並南部	石川 祐輔
		P1-6	集学的治療で自宅療養を実現できた骨盤骨転移の1例	国立がん研究センター中央病院 緩和医療科	国田 涼加
痛み以外の身体 症状①	黒崎 亮 前橋赤十字病院 外科	P2-1	初診時T4乳がん患者の心理的背景について～治療介入の必要性～	桐生厚生総合病院 乳腺外科	森下 亜希子
		P2-2	大腸癌難治性腹水に対し合計15回の腹水濾過濃縮再静注法CARTを行い治療から離脱した症例	熊谷総合病院 外科	平山 信男
		P2-3	在宅がん性イレウス管理における症状緩和の課題と展望ー3症例の経験からー	医療法人あい友会 あい駒形クリニック	高橋 秀行
		P2-4	進行がん患者の難治性悪心に対しプロナンセリン経皮吸収型製剤が有効だった1例	国立がん研究センター中央病院 緩和医療科	廣瀬 綾菜
		P2-5	ポータブル超音波画像診断装置を用いた非侵襲的な便秘の評価	群馬大学医学部附属病院 緩和ケアセンター	井上 智香
		P2-6	乳がん術後上肢リンパ浮腫患者に対するリンパ浮腫ケア外来の効果 ーリンパ浮腫セラピスト看護師による複合的治療と多職種連携支援がQOLに与える影響ー	独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター 看護部	山田 はるえ
痛み以外の身体 症状②・その他	高野 峻一 公立藤岡総合病院 診療部 呼吸器内科	P3-1	リズムコントロール困難な発作性心房細動に伴う呼吸困難にアルプラゾラムの内服が有効であった1症例	信州大学医学部附属病院 麻酔科 蘇生科	吉田 倫將
		P3-2	脳幹腫瘍に伴う不安および呼吸困難に対して、トラゾドンが症状改善に寄与したと考えられた一症例	国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科	山口 順嗣
		P3-3	終末期膀胱癌患者に生じた小腸膀胱瘻による高クロール性代謝性アシドーシスを主因とする反復する意識障害の1例	千葉県がんセンター 緩和医療科	森山 悠
		P3-4	外来化学療法を受ける固形がん患者に対するG8導入の有効性と課題 ～看護師・薬剤師連携に着目して～	渋川医療センター 看護部	中林 淳子
		P3-5	頭頸部がん治療後の瘢痕拘縮による筋筋膜性疼痛と不安に対する鍼灸介入	国立がん研究センター中央病院 緩和医療科	高橋 明香
		P3-6	高次医療機関から緩和医療目的に紹介された終末期癌に対して、抗がん薬物療法を施行した2例	医療法人樹心会 角田病院 外科	戸塚 統

セッション名	座長	演題番号	演題名	所属	筆頭発表者
その他の痛み	三枝 里江 群馬大学医学部附属病院 麻酔・集中治療科	P4-1	悪性リンパ腫の移植後に多発筋肉内転移との鑑別を要しステロイド全身投与が著効したGVHD筋炎の一例	国立がん研究センター中央病院 緩和医療科	小竹 理奈
		P4-2	言語的訴えが困難な神経膠腫患者の疼痛アセスメントにおけるがん専門病院の看護師の体験の構造化に向けた質的研究	新潟大学大学院医歯保健学研究科健康科学専攻看護学プログラ	小林 重紀
		P4-3	治療の意味喪失（デモラリゼーション）を背景に希死念慮を呈した高齢がん患者への全人的支援	日本医科大学千葉北総病院 看護部	小泉 はるか
		P4-4	1日で完結する緩和放射線治療（one-day RT: one-day radiotherapy）のバリエーション	自治医科大学 放射線治療科	高橋 聡
		P4-5	緩和ケア病棟における抗てんかん薬の使用について～膠芽腫・悪性神経膠腫7例の報告～	がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科	二宮 智子
		P4-6	小細胞がんの傍腫瘍症候群による末梢神経障害に対して、十味剉散に近づけた合方（大防風湯＋桂枝茯苓丸）が有効であった一症例	杏林大学医学部麻酔科学教室	渡辺 邦太郎
その他の痛みのケア	星野 隼矢 渋川医療センター 緩和ケア科	P5-1	多職種による外泊支援により、せん妄の改善を認めた緩和ケア病棟がん患者の一例	独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター 看護部	岩井 由美子
		P5-2	胃癌術後に盲腸癌と診断され心理的ストレス状況にある高齢がん患者の意思決定支援ーストレス・コーピング理論を用いて適応過程と看護支援を考察するー	桐生厚生総合病院地域医療連携室	荒川 浩
		P5-3	生成AIを活用した「人生絵本」によるスピリチュアルケアを試みた1例	医療法人 あい友会 あい太田クリニック	藺部 光汰
		P5-4	気管切開による失声と孤独感を抱えるがん患者への看護支援	群馬大学医学部附属病院 緩和ケアセンター	篠田 静代
		P5-5	がん終末期患者の急激な状態の変化に動揺する、家族への対応の経験	真木病院 看護部	鈴木 夏芳
		P5-6	がんサロン「ほっとさろん・たかさき」の評価と課題	独立行政法人 国立病院機構 高崎総合医療センター 看護部	長島 春香
在宅緩和ケア	中曽根 拓也 おだやか在宅クリニック	P6-1	主治医として診断から治療、在宅緩和ケアから看取りまで実践できたがん患者の1例	今井クリニック丸山内科	丸山 雅史
		P6-2	携帯型ポンプを用いたミタゾラム注による訪問看護下での鎮静法	真木病院 訪問看護ステーション	笹澤 桂子
		P6-3	丸山ワクチンが著効したと考えられた癌末期の在宅診療患者の1例	本庄早稲田クリニック	荻野 隆史
		P6-4	『最期まで家で』を支える 一定巡回と訪問看護の連携による在宅看取り支援の取り組みー	Hugheart-ハグハート訪問看護ステーション	山口 ゆか子
		P6-5	その人らしい最期を迎えるために ～ 在宅で緩和ケアを望んだ単身世帯のがん末期利用者とのかわり ～	社会医療法人 丸山会 御所苑訪問看護ステーション	松沢 育実
		P6-6	訪問診療クリニックにおける緩和ケアチームの活動報告 切れ目のない情報共有とICT活用による、クリニック全体の在宅緩和ケアの実践	医療法人あい友会 あい駒形クリニック	矢野 靖江

セッション名	座長	演題番号	演題名	所属	筆頭発表者
在宅緩和ケア・ 退院支援	前野 有理 あい太田クリニック	P7-1	多職種連携により在宅看取りを実現した独居高齢者の一例	あい駒形クリニック	大崎 佳代子
		P7-2	骨転移を呈するがん患者の自宅退院におけるFIMの予測妥当性の検討	公立藤岡総合病院リハビリテーション室	藤井 洋有
		P7-3	終末期肺がん患者の希望と不安に寄り添った退院支援の一事例	地方独立行政法人 大月市立中央病院	三谷野 聡子
		P7-4	過疎地域に居住する終末期がん患者の在宅移行支援	桐生厚生総合病院 看護部	五十嵐 千代子
		P7-5	緩和ケア病棟で看取りを希望していた患者に期間限定の一時退院を提案した一例	東京品川病院 緩和ケア科	山上 あゆむ
		P7-6	当院緩和ケア病棟を生存退院した患者における介護保険サービス利用の実際	伊勢崎市民病院 緩和ケア内科	押本 直子
在宅緩和ケア・ 地域連携	加藤 裕美 原町赤十字病院 看護部	P8-1	地域のリハビリテーション職種からみた、がん終末期の多職種連携と教育ニーズ	群馬大学大学院保健学研究科看護学	京田 亜由美
		P8-2	がん難民を生まない「北信がん診療・緩和ケアネットワーク」の活動	医療法人愛和会 愛和病院	平方 眞
		P8-3	緩和医療におけるミタゾラムを用いた鎮静法：入院と在宅の比較検討	真木病院 診療部 外科	尾形 敏郎
		P8-4	終末期がん患者のテーマパーク外出支援の一例 ー褥瘡・疼痛管理を要する患者に対する多職種連携ー	みらい訪問看護リハビリステーション	小野 かおり
		P8-5	訪問診療を契機に標準治療へ繋ぎ、長期生存が得られた進行乳癌の1例	医療法人あい友会 あい太田クリニック	芳賀 紀裕
		P8-6	地域住民とともに学ぶ「トータルペイン」ー地域イベントを活用した在宅緩和ケア普及の取り組みー	医療法人賛永会 さつきホームクリニック 地域連携共創部	高山 水樹
緩和ケア病棟・ 終末期ケア	平山 功 群馬県済生会前橋 病院 緩和ケア内科	P9-1	当院療養病棟におけるデスカンファレンス導入前後の看護師の感情の変化の調査から見えた今後の課題	医療法人徳洲会 皆野病院 5階医療療養病棟	根岸 葵
		P9-2	「終末期における本人らしさを尊重した褥瘡予防ケアの実践」	筑波メディカルセンター病院 PCU病棟	金子 愛美
		P9-3	頭頸部癌の進行によりコミュニケーション困難となった患者へのチームアプローチ	公益財団法人ライフ・エクステンション研究所付属 永寿総合病	松田 繰実
		P9-4	ホスピスにおける介護士の専門性 ～その人らしい暮らしを支えた一事例～	ホスピス和が家	本田 雅敦
		P9-5	グリーフケアスペース川崎活動報告ー地域の中で行われるグリーフケアの可能性ー	一般社団法人プラスケア	福島 沙紀
		P9-6	当院における終末期乳がん患者の死亡場所の検討	横浜栄共済病院 乳腺外科	俵矢 香苗

セッション名	座長	演題番号	演題名	所属	筆頭発表者
緩和ケア・その他	武井 智幸 公立藤岡総合病院 泌尿器科	P10-1	幼少期発症の巨大悪性末梢神経鞘腫におけるAYA世代患者の終末期心理反応 ～発達心理学的アプローチによるケアの再考～	群馬大学医学部附属病院 麻酔・集中治療科	菅原 健志郎
		P10-2	がん確定診断時におけるがん看護外来介入の現状と課題～病理結果からつなぐ患者・家族支援とがん患者指導管理料算定への取り組み～	独立行政法人国立病院機構渋川医療センター 看護部	奥澤 直美
		P10-3	在宅医療での終末期プリオン病患者の緩和ケア、工夫を重ね生存期間を延長できた4症例	医療法人社団 ひさゆい会 在宅ケアクリニック杉並南部	白濱 淳
		P10-4	2026年診療報酬改定を見据えた一般病棟における末期腎不全患者の入院診療の実態調査	東京ほくと医療生活協同組合王子生協病院	古島 雅子
		P10-5	緩和ケアチーム活動の工夫と依頼動向の変化	前橋赤十字病院緩和支援医療科	小屋 紘子
		P10-6	常勤精神科医の着任を契機とした緩和ケアチーム再始動後2年間の活動実績と自施設評価に基づく今後の展望	利根中央病院 総合診療科	渡邊 健太
倫理的問題・教育	角田 明美 群馬大学医学部附属病院 緩和ケアセンター	P11-1	当院における臨床倫理コンサルテーションチームの発足と活動の報告	伊勢崎市民病院 緩和ケア内科	廣野 正法
		P11-2	難治性疼痛患者の自宅療養決定に向けた倫理的ジレンマの解決～緩和ケアチームによる病棟カンファレンスへの介入効果～	群馬大学医学部附属病院 緩和ケアセンター	宮澤 純江
		P11-3	緩和ケア病棟に勤務する看護師のやりがい感～緩和ケア病棟開設1年が経過して～	川口市立医療センター PCU病棟	中島 真紀
		P11-4	麻薬関連インシデントレポートのテキストマイニングによる発生要因の分析	昭和医科大学病院 薬剤部	島本 一志
		P11-5	サ高住における「第2の自宅」としての看取りを支える実践報告 ー緩和ケア認定看護師によるスタッフ教育指導ー	アンジェス宇都宮御幸本町併設訪問看護ステーションルーチェ	是枝 佐由子
		P11-6	当院リハビリテーション科による緩和ケアの認識調査 ーがんリハビリテーション研修受講の影響の検討ー	医療法人 真木会 真木病院 リハビリテーション科	初川 蓮
啓発・ACP	今井 洋子 前橋赤十字病院 緩和ケア支援室	P12-1	中野区における在宅診療所発の多層的ACP啓発の実践報告	医療法人社団おうちの診療所 おうちの診療所 中野	石井 洋介
		P12-2	リビング・ウィルに関する市民の認識と意向 ー「リビング・ウィルセミナー」参加者アンケートの分析ー	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター 疼痛緩和内科	石井 あかね
		P12-3	外国人の肺癌患者の緩和ケアにおける意思決定支援と死後対応の課題	国立がん研究センター中央病院 緩和医療科	御子柴 颯季
		P12-4	悪性胸膜中皮腫終末期における多層的なACP ー家族の予後拒絶と患者の「生き切る」意思を繋ぐ看護実践の省察ー	日本鋼管病院 看護部	中村 康江
		P12-5	アドバンス・ケア・プランニングに関するA病院の意識調査	公立館林厚生病院 東4階病棟	桑原 小百合
		P12-6	「こんなに悪いとは思っていなかった」と話す、人生の最終段階に向かう壮年期がん終末期患者の揺れる思い ～患者意向確認（ACP）シートを用いての意思決定過程の支援～	都留市立病院	村澤 香代

セッション名	座長	演題番号	演題名	所属	筆頭発表者
他職種協働・ チーム医療	生方 貴子 高崎総合医療セン ター 看護部	P13-1	50歳台肺がん患者と家族の思いに寄り添った多職種連携の一事例 ～外来から入院まで切れ目のない関わりを通して～	佐野厚生総合病院 緩和ケアチー ム	宮崎 好美
		P13-2	在宅緩和ケアにおけるグリーフケア教育を通じた地域多職種連携の試み	ひなた在宅クリニック山王	平井 ゆり
		P13-3	遺族会ケアにおける宗教者による支援実践-「弔い直し」の一事例から-	雲門寺	古溪 光大
		P13-4	山梨県立中央病院での緩和ケアチーム研修会の現況	山梨県立中央病院 緩和ケア科	阿部 文明
		P13-5	在宅後方支援機能に特化した緩和ケア病棟に勤務する看護師の共感疲労と共感満足の実態 ーProQOL-JNと半構造化インタビューを用いた混合研究ー	千葉県がんセンター 医療の質・ 安全管理部	小出 光子
		P13-6	癌性腹膜炎・腸閉塞を伴う大腸癌患者の在宅緩和ケアにおける訪問薬剤師の役割と多職種連携	日本調剤 西新井薬局	田口 典子